仲邑、初勝利飾る

すみれのオロチャレンジ

仲邑菫初段（11）が韓国棋士4人に3局ずつ挑戦する特別企画「すみれのオロチャレンジ」第2戦全3局が徐能旭九段との間で7月17、18日、ネット対局「サイバーオロ」（=主催、写真提供）で行われた。徐九段は曺薫鉉九段、徐奉洙九段らの少し下の世代の62歳。韓国では「孫悟空」のニックネームで親しまれる。その徐九段に第2局で仲邑初段が黒番3目半勝ちし、初勝利をあげた。残念ながら第1、3局に敗れて1－2となりこの対戦には敗れたものの、実力の一端を示すことはできた。

第1局は仲邑が序盤で劣勢になり、反撃かなわずに敗れた。第2局は苦しい碁を逆転勝ち。第3局は好局だったが、徐々に後退し逆転を許した。勝った第2局を紹介する。

進化し続ける菫、今後に期待

総譜　仲邑の先番。白10ハサミに黒11とツメ返して戦いが始まり、黒25切りからなおも競り合いが続いた。

黒49以降は一手一手が難しい空中戦。白56ケイマは、AIは白Aを示した。黒57ツケは白60までの反発を招き、黒65と逃げる間に白66と外を取られて形勢を損ねた。

しかし、この後耐え忍んで逆転に結び付けたのが見応え十分。白110からの策動に的確に応じて仕留め、さらに黒137から145の大ヨセを占めて手を渡した。白としては152でB、黒C、白D、黒E、白Fなどから締め付けるのが一番際どかった。白152では不十分。黒155となってついに黒が抜け出した。

韓国の徐能旭九段

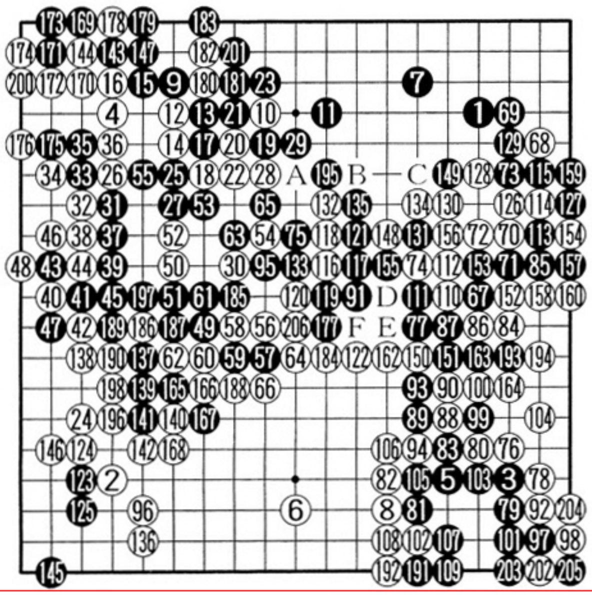
碁界ネットワーク

〈すみれのオロチャレンジ第2戦・第2局〉

白　徐能旭（ソヌンウク）（韓国）　黒　仲邑菫（日本）

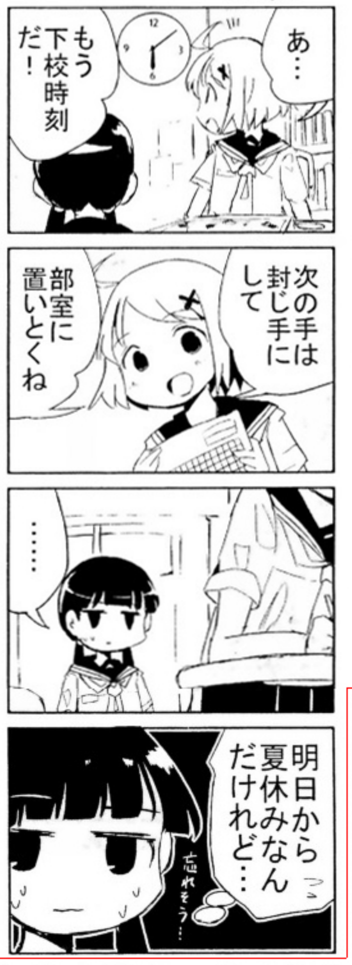
〈総譜〉❶―(207)完、黒3目半勝ち

(161)（154）(199)（186）(207)（202）



ゆるみちゃん ⑰

宇城はやひろ


あ…
もう下校時刻だ！
次の手は封じ手にして
部室に置いとくね
……
明日から夏休みなんだけれど…
忘れそう…

※7月26日のNHK「囲碁フォーカス」に宇城はやひろ先生が出演！　31日15時に再放送！

未来を照らす川越

川越igoまち倶楽部　キワニス「社会公益賞」受賞

囲碁の普及活動に〝まちづくり〟の視点を入れた取り組みが注目される「川越igoまち倶楽部」（埼玉県）は、このほど、埼玉キワニスクラブから「社会公益賞」を贈られた。キワニスとは、米デトロイト市周辺の先住民の言葉「みんな一緒に集まる」に由来し、子どもの幸せのための活動を行う世界三大社会奉仕団体のひとつだ。

一般的に囲碁教室は、囲碁の打ち方を教える・強い子を育てることを目的とするのが通例だが、川越igoまち倶楽部は、「地域で子どもを育てよう！」という理念のもと、囲碁が内包する力を活用し、子どもたちの人間力を育む場と位置付ける。自主参加の大学生・現役世代・シニアのボランティア講師が、毎回10数人で指導に当たっている。

人生経験やタイプの異なる多彩かつ充実した指導体制は、どのような子も受け入れられる懐の深さがあるのが特徴だ。楽しく囲碁を学ぶことをモットーに、幼児から小中学生・保護者・講師とスタッフが集う教室は、まさに多世代交流の場。加えて、核家族が多い子育て世代にとっては「大きな家族のような安心できる居場所」でもあるという。

ちなみに、同倶楽部の受賞歴は3回目だが、いずれも囲碁界の外から。よって、これらの評価は、社会性を付加した囲碁活動の正当性を、客観的に確認できる指標だと言えそうだ。

授賞式の様子

4ヵ月ぶりの碁会

棋士エッセー

記・岡田結美子

私の亡き父、安倍吉輝九段の「安倍会」を、夫（岡田伸一郎八段）が引き継ぎ、私も時々指導碁をしています。

7月に入り、4ヵ月振りの安倍会へ、最年長96歳の小林袈裟治さんが、来てくれました。お一人で電車に乗りさっそうと歩く姿は、96歳とは誰もが驚くでしょう。

この日の指導碁は、私と4子局で「ジゴ」。「もう一局」とお誘いすると、「一局で満足です。また8月に」と笑顔で帰って行かれました。この写真は対局後、笑顔のツーショット写真です。

母に「安倍会の小林さんはお元気だよ、父のお仏壇に報告してね」とメールに写真を添えて送りました。

8月も無事に、碁会が行えますよう願っています。

小林さん㊧と岡田六段

◆春蘭杯開幕

第13回春蘭杯はネット対局で行われることとなった。1、2回戦は以下の通りに行われる。準々決勝以降の日程は未定。

【対局概要】〈とき〉7月29日（水）、31日（金）、11時半開始（日本時間）**〈対局〉**日本棋院東京本院にて中国ネット「野狐囲碁」を使用しての対局**〈対局方式〉**24名のトーナメント戦、コミ7目半**〈持ち時間〉**各2時間30分、60秒5回の秒読み

【出場選手】

〈日本〉井山裕太九段、芝野虎丸九段、村川大介九段、余正麒八段、本木克弥八段

〈中国〉柯潔九段、芈昱廷九段、楊鼎新九段、范廷鈺九段、連笑九段、時越九段、陳耀燁九段、唐韋星九段、許嘉陽八段

〈韓国〉朴廷桓九段、朴永訓九段、姜東潤九段、金志錫九段、申真諝九段、申旻埈九段、卞相壹九段

〈中華台北〉許皓鋐六段

〈北米〉李立言初段

〈欧州〉I・シクシン三段（ロシア）

◆ワイズアカデミー杯

株式会社ワイズアカデミー（代表取締役・大森善郎）の協賛により若手棋士5名と少年少女選抜5名の計10名による第2回ワイズアカデミー杯が開催される。

〈とき〉8月14日（金）～16日（日）**〈ところ〉**ダイヤモンド囲碁サロン

【出場選手】〈棋士〉三浦太郎初段・横田日菜乃初段・大須賀聖良初段・塚田千春初段・本田真理子初段**〈選抜アマ〉**伊東信義（北海道10歳）篠田優也（北海道9歳）米津玲吾（東京9歳）温越（神奈川8歳）山際庸平（東京9歳）**〈コーチ〉**平田智也七段（毎局終了後、囲碁AIを活用した各対局の検討および指導）※感染防止のため、一般の方の観戦はありません。

治勲感動の一手・解答

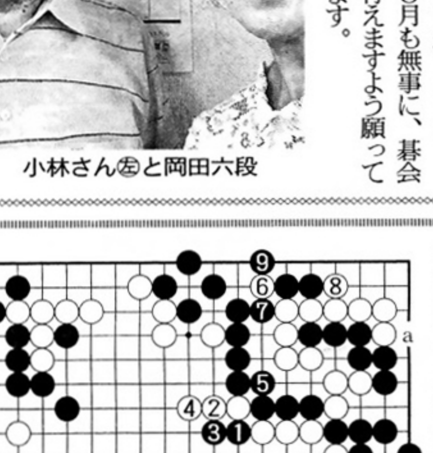
虎丸、まさかのポカ

黒1が大ぽかの始まりです。仕掛けていったのに、黒11まで後手をひいてしまいました。

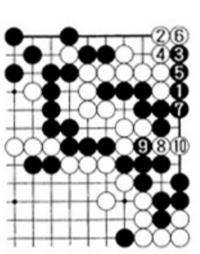
白12が盤上最大。気分的には2手打ちされたぐらい、べらぼうに大きいです。

黒は右上の白の大石を取らなくては話になりません。普通は白aにハネて死ぬのですが、この場合は死にません。黒が取りにいっても、**参考図**の白10までで。黒はダメヅマリです。この変化がわかった方は、偉大です。「お悩み天国」を全巻買いそろえる栄誉を与えます。心苦しいのですが、自腹でお願いします。

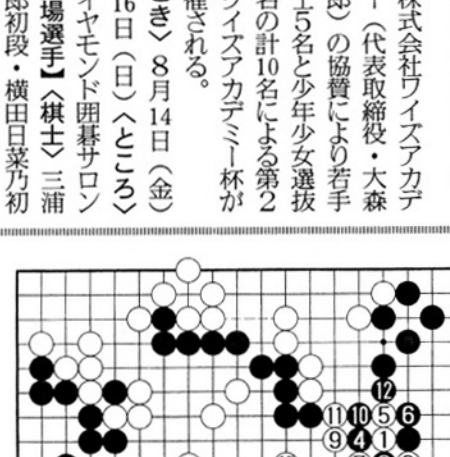
△芝野―許　白中押し勝ち　〈実戦進行〉



〈参考図〉



趙―△吉田　白中押し勝ち　〈実戦進行〉



大石を捕ったのに…

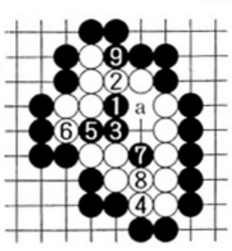
白1とモタレ攻めです。黒2から6と最強に来たので、白13まで露骨に利かして15と封鎖。この後暴れるまわる黒の大捕り物に成功しました。嬉しいはずなのに、素直に喜べません。繊細＝治勲、露骨＝光一のはず。勝ったのに、どこかショックを受ける治勲でした。

詰碁解答

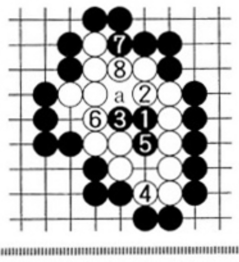
出題は5面

〈正解〉黒1から手を付けて、黒5、7からダメヅマリに導き黒9でオイオトシとなる。白死。白2でa、黒3、白4なら黒5で同様の筋。

〈正解〉



〈失敗〉黒1は白2に対し以下順に攻めても、白8までセキにするのが精一杯。黒1で8は白a、黒1で2は白1で白生き。

〈失敗〉